

令和8年度

教育行政方針



根室市教育委員会

令和8年度 教育行政方針

| | | | |
|-----|---|-------|-----|
| I | はじめに | | 1 |
| II | 主要施策の展開 | | 3 |
| | 1. 持続可能な社会の創り手を育てる学校教育の充実 | ... | 3 |
| | 2. 社会構造の変化の中で持続的で魅力ある 学校教育を実現する教育環境の充実 | ... | 8 |
| | 3. 社会教育・生涯学習活動の充実と 文化・スポーツの振興 | | 1 1 |
| III | むすびに | | 1 5 |

I はじめに

令和8年の根室市議会2月定例会月議会の開会に当たり、教育行政に臨む基本的な姿勢と主な施策について申し上げます。

昨年9月に策定した根室市教育大綱に「インクルーシブ社会を築くレゴブロック型資質・能力の育成」と基本理念を掲げました。

生成AIなどデジタル技術が急速に進展し、私たちの生活を大きく変えようとしています。こうした中において、今こそ人間だからできることは何かを問い、その資質・能力を育む新たな時代にふさわしい教育を構築する必要があります。

人間は、生命あるものとして自らの成長を望みます。柔軟な身体とあふれる想像力をもちます。内から湧き上がるように夢を描き、よき未来をイメージします。ひらめくような感性で、朝露にきらめく木々に感動したり、夜空を仰ぎ浸ったり、鳥のさえずりに心動かされ、生きている喜びを感じたりします。豊かな自然環境に恵まれた根室市は、これらの人間性を高める上で優位性を保持していると考えます。

そのため、根室市教育委員会では、学校教育、社会教育の融合を図りながら、インクルーシブ社会の実現を目指した取組を力強く進めてまいります。

インクルーシブ社会の実現を目指す教育とは、障がいのみならず、人種の別や男女差、性についての自認や指向性、学習の進め方やペースの違いなどを一人ひとりの個性と価値観として認め、自分らしくあるための選択や決定を尊重する教育です。

昨年9月、中央教育審議会は、次期学習指導要領の在り方について方向性を示した論点整理を公表しました。その中では、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手を育成するために、「好きを育み、得意を伸ばすこと」、「当事者意識をもって、自分の意見を形成し、対話と合意ができること」の重要性が指摘されています。

これは、インクルーシブ教育の理念を基盤として、児童生徒一人ひとりが、自分に最もふさわしい学び方を自ら選択し、試行錯誤を重ねながら達成感を味わうことができる学習活動を推進するとともに、多様な立場の市民が互いの意見を尊重しながら交流し、受容し合う各種事業を進めてきた根室市の教育行政を後押しする考え方です。

こうした認識の下、第10期根室市総合計画に位置付けた「人を育み、文化を創造するまち」の実現を目指し、当市の教育行政を推進してまいります。

Ⅱ 主要施策の展開

本市における教育行政の執行にあたり、主な施策について申し上げます。

1. 持続可能な社会の創り手を育てる学校教育の充実

はじめに、「学校教育の充実」についてであります。

これまで当たり前とされてきた価値観でさえも、刻々と変化する大きな社会変容の中にあって、前例のない事態に対しても、人間ならではの感性を働かせて前向きに捉え、より豊かなものにしていく資質・能力を育むことが求められます。

特に北方領土問題を抱える地域に育つ根室の子どもたちにとって、知識の習得だけではなく多角的に理解し、様々な立場や思いに共感し、より良い社会の在り方を構想しながら行動する力が不可欠な資質・能力であると考えております。

そのため、持続可能な社会の創り手を育てる学校教育では、インクルーシブ社会の実現を学校の使命として、教員とその理念を共有しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に取り組んでまいります。

花咲港小学校におけるインクルーシブ教育については、従来の一斉指導や同質性を重視した教育から脱却し、児童生徒一人

ひとりが、「自分に合った学び方」や「学ぶ場所」を自ら選択する学習スタイルを実践してきました。

この取組は、全国から注目され、これまで多くの行政視察や研修を受け入れてきたほか、昨年3月には京都教育大学が主催するシンポジウムに登壇する機会をいただき、その成果発表が大学論文としてまとめられることとなりました。

また、保護者世代から、花咲港小学校での取組を中学課程でも継続してもらいたいとの声が多く寄せられていることを踏まえ、後期課程の機能を加える義務教育学校化を目指すなど、取組のさらなる深化に努めてまいります。

加えて、花咲港小学校と学びの多様化に取り組む海星学校を市独自のインクルーシブ教育推進特認校に指定し、インクルーシブ社会の実現を目指す教育の発展に取り組めます。

特別支援教育については、特別支援教育担当主幹を中心に、北海道立特別支援教育センターをはじめ、大学等との連携を進め、児童生徒の特性や困り感などについて多角的なアセスメントを行うなど個々のニーズに応じた多様な学びを整備してまいります。

また、教職員研修の充実や相談体制の構築、学習活動を支援する特別支援教育支援員や介助業務員、放課後教室等指導員に

よる学習サポートに加え、教員の加配措置による中学校での通級指導教室の開設など、障がいの種類や程度に応じた専門的な教育を受けられる環境整備を進めるほか、幼保小中高の一貫的な連携体制の強化など、切れ目のない支援に努めてまいります。

学力向上に向けては、「自分を主語とした学び」の深化に向け、子どもが主体的に学びを舵取りする姿勢を育み、ICTを最大限活用しながら、個々の習得状況に応じた個別最適な学びと、多様な他者との対話を通じた協働的で深い学びを一体的に推進します。

また、その推進にあたっては校長・教頭・教諭の代表と教育委員会で組織する「学力向上プロジェクト推進会議」や教員による研究組織「根室市学校連携教育研究会」と連携して、大学教授などを招いた研修会を継続開催し、教職員の指導力向上を図りつつ、学力向上等補助教員や市街地区中学校への市独自加配など人材確保にも努め、子どもを主語としたきめ細かな指導の実現を図ってまいります。

教育の情報化については、GIGAスクール構想に基づき整備を行ってきた1人1台端末を授業内だけでなく、家庭学習や課外活動においても「思考のツール」として最大限活用するとともに、その前提となる情報モラルや情報リテラシー教育の充

実・強化を進めます。

また、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向け、各家庭でゲーム機や携帯などの使用時間を決める「スイッチオフ22」運動を展開するほか、ネットトラブルの当事者とならないよう、ICT端末やインターネット利用に関する家庭内でのルール作り等について、警察をはじめとした関係機関と連携した啓発促進に努めてまいります。

道徳教育については、根室高校演劇部の協力のもと、「いじめ問題」や「インクルーシブ社会」をテーマに小・中学生が一堂に会し議論する「子ども会議」を開催するなど、自立した社会人として成長していくための基本となる道徳性の涵養に向け取り組みます。

また、学校の教育活動全体を通じて多様性を認めあうジェンダー平等への理解を促し、児童生徒一人ひとりが「自分らしく」能力を発揮できる環境を整え、道徳や学級活動等を通じて、多様な在り方を認め合う共生の精神を育んでまいります。

増加する不登校等への対応として、引き続き、タブレット端末を活用した学びの保障をはじめ、市独自のカウンセリング体制の充実やインクルーシブ教育推進員による支援、AIやメタバース技術を活用した多面的な相談体制の構築、花咲港小学校

に適応指導教室「ふれあいくらぶ弥生」の分室を設置するなど、支援を必要とする子どもたちへのサポート強化に取り組みます。

また、教育支援担当主幹を中心に、相互協力協定を結ぶ北海道教育大学との連携を進め、子どもの成長や行動に大きな影響を与える学校全体の雰囲気や科学的に調査・分析する「学校風土調査」を実施するなど、不登校を科学するという視点に立ち、不登校要因の分析を進め、未然防止や適切な支援につなげます。

子どもたちの体力向上に向けては、体育専科教員を継続配置するほか、ICT教材を効果的に活用し、子どもたちが興味を持ちながら、運動能力向上が図られるよう取り組みます。

ふるさと学習については、北方領土返還要求運動原点の地として、教員の研修機会を確保し、領土問題の正しい理解と認識が深まるよう元島民の講話や直接の対話に取り組んでまいります。

また、姉妹都市黒部市とのオンライン交流授業や給食交流授業等を通じて、それぞれの自然、歴史、産業など、地域のもつ魅力や特徴について学び、子どもたちが自分たちの暮らす地域に誇りと愛着を持ちながら地域について探究する学校教育を充実させ、郷土愛の醸成につなげてまいります。

防災・減災教育の充実に向けては、切迫する千島海溝沿いの

超巨大地震や大津波など、激甚化する自然災害から自ら命を守る行動をとるための必要な知識が身に付くよう、関係機関と連携し、防災リテラシーの向上を図ってまいります。

特に、有識者からも評価をいただいている学校での防災宿泊研修などの取組を継続するほか、地震防災の専門家による研修会や建築士会と連携した学校施設の安全確認などの取組を進めてまいります。

市内唯一の高校である根室高校への支援として、「北海道根室高等学校教育振興会」を通じ、高校生への1人1台のパソコン貸与、JR通学費の全額助成などに取り組みます。

また、継続して支援する「総合的な探究の時間」では、高校生が自らの興味関心に問いを立て、情報収集し分析研究する、魅力ある学習に深化しており、これらを踏まえ、根室高校や北海道教育委員会と協議・検討を重ね、今後の魅力ある新しい学校づくりに向け、支援拡充に取り組んでまいります。

2. 社会構造の変化の中で持続的で魅力ある

学校教育を実現する教育環境の充実

主要施策の2つ目は、「教育環境の充実」についてであります。

少子高齢化や多様化する教育的ニーズ、教員のなり手不足と

いった社会課題に向き合い、子どもたちが将来に夢と希望を持ち、学ぶ意欲や目的意識をもって学習に取り組むことができるよう、一人ひとりの個性、能力、適性等に応じて自らの力を伸ばすことができる教育環境の整備について、「根室市立学校適正配置計画」に基づき進めてまいります。

全国的にも義務教育学校化が進んでおり、本市においては、小中一貫教育による特色ある教育活動のさらなる深化に向け、厚床小中学校の整備を着実に進めるとともに、新しい時代の学び舎として、地域・社会との共創空間としての機能も併せ持つ、北斗・柏陵校区の義務教育学校の開設に向け、建設工事に着手してまいります。

市立学校における暑さ対策として、昨年度の普通教室へのウインドエアコン設置に続き、遮熱カーテンを全校に導入し、近年の温暖化への対応をさらに進め、子どもたちがより安心・安全な環境で学校生活を送ることができる環境整備を進めてまいります。

各中学校区に設置している「コミュニティ・スクール」については、地域の皆様が中心となって教育活動に関わることで、中学校での技術・家庭科の授業サポートや北斗小学校での「CSクラブ活動」などの活動につながり、子どもたちに様々な体験

活動を提供いただくなど、さらに広がりを見せています。

学校と地域が一体となった防災訓練や地元漁協の協力による地場産産を学ぶ機会の創出など、「地域連携推進員」や「コミュニティ・スクールアドバイザー」の支援による取組を継続するとともに、地域ぐるみの子育てができるよう地域学校協働本部の設置を検討し、各校区の特徴ある活動の活性化を図ってまいります。

学校給食については、児童生徒の学校給食費の無償化を継続するとともに、地場産食材による「ふるさと給食」などの取組を進め、子どもたちの郷土愛や生産者への感謝の念を育む食育の充実を図ってまいります。

また、老朽化する調理場施設の整備に向けては、これまで課題であった「アレルギー対応」などの解消を図りつつ、市内事業者や雇用などに配慮しながら、民間活力の導入による地域にとっての新たな付加価値にもつながる持続可能な学校給食提供の仕組みづくりに向けて、取組を加速してまいります。

将来の教員確保に向けては、北海道教育大学と連携し、教育実習生の受け入れ拡大など、早期から教育現場に親しみ、地域の教育を担う将来像を具体的に描けるよう根室市を教育フィールドとする大学生の研究活動を支援するなど、広く教員確保の

取組を進めてまいります。

また、「学校における働き方改革のための業務改善計画」に基づき、教員負担の軽減にも資するアプリケーションの導入や校務支援システムにより校務効率化を図るなど、校長会や道教委とも連携し、教員の働き方改革を着実に進めてまいります。

「部活動の地域展開」につきましては、種目の現状に応じた試行を継続するとともに、将来的な部活動の在り方を協議するために組織した「根室市部活動地域展開検討委員会」において、様々な立場のご意見を伺いながら、学校や地域のスポーツ・文化団体等との協議・検討を進め、その拡充に努めてまいります。

3. 社会教育・生涯学習活動の充実と

文化・スポーツの振興

最後に、「社会教育・生涯学習活動の充実と文化・スポーツの振興」についてであります。

進むべき方向性を示した、新しい「社会教育計画」の理念を実現していくために諸般の取組を行ってまいります。

多世代のつながりづくり推進に向けた、「ねむろ未来づくり事業」では、高校生が長期休業期間に放課後教室の指導員として体験指導を行う「ネクストティーチャーズ」や高校生と高齢者

が世代間交流できる機会もつくるほか、根室出身の大学生や在学中の大学と協働しながら根室市の伝統や文化等の魅力に触れ親しむことができる事業を推進してまいります。

青少年の健全育成につきましては、青少年相談室において、関係団体との連携を図り、複雑化する青少年の悩みや心配事の相談に対応するとともに、「根室市地域子ども会育成連絡協議会」と協働した「子ども会リーダー研修会」の開催など、地域全体で子どもを育む意識を高めながら、取組を進めてまいります。

放課後教室等につきましては、土曜日や長期休業中の開館時間の繰上げについて引き続き対応するなど、子どもたちが、より安全に安心して過ごすことができる居場所づくりの充実に努めます。

総合文化会館においては、「根室市総合文化会館事業協会」や「根室市文化協会」等との協働により、市民が様々な文化活動に触れる機会の創出に取り組んでまいります。

また、総合文化会館の施設整備として、老朽化する大・小ホール舞台操作機器や吊物機構の改修など、計画的に取り組めます。

社会教育と生涯学習の拠点である公民館活動では、多くの方が多様な分野で学ぶ各種講座を実施するとともに、様々な活動や団体を横でつなぐ多世代交流の場づくりと団体の輪がひろが

る支援活動を進めるほか、教育委員会若手職員によるワーキンググループの取組の活性化を図り、様々な世代のつながりを大切にする取組の充実を図ります。

文化財については、根室半島チャン跡群の一つであるノツカマフチャン跡の駐車場整備に取り組むほか、保存修復工事が完了した和田屯田記念館においては、屯田兵の歴史に関する展示整備を進めます。

市指定の天然記念物である「歯舞湿原」の「昆虫類」及び「湿原の地下水位」調査を行うほか、国指定天然記念物である「落石岬のサカイツツジ自生地」でのエゾシカによる攪乱を防ぐため、防除柵の設置に取り組み、将来にわたる着実な保存・活用に努めてまいります。

日本遺産につきましては、根室管内1市3町で構成する「鮭の聖地メナシネットワーク」と文化財を活用した各種イベントにより、広く普及活動を展開してまいります。

図書館につきましては、生涯学習施設として安心して利用できる環境整備はもとより、老朽化する移動図書館バスを更新するほか、バリアフリー図書の配置などを進め、市民の読書・学習意欲の向上につなげてまいります。

また、子ども読書活動推進計画に基づき、子どもブックライ

フ応援事業では、今年度、新たに、中高生に向けた読書講演会を実施し、乳児期から青年期まで途切れなく、多くの本と出合う機会づくりに努めるとともに、図書館司書を学校に派遣し、「読書センター」、「学習・情報センター」としての学校図書館の機能充実を図り、児童生徒が安心感を持って読書や学習に取り組める居場所づくりを進めてまいります。

スポーツの振興につきましては、「スポーツ・健康都市」宣言のさらなる推進を目指し、根室市スポーツ推進計画に基づき、市民が健康で活力に満ちた地域社会を築き、生涯にわたってスポーツ活動に親しむことができるよう社会体育施設の環境整備を進めます。

障がい者や高齢者等に向けた、パラスポーツやニュースポーツの体験機会の拡充を図るとともに、部活動の地域展開も見据えながら、指導者の確保・育成を図るなど、関係団体とも連携し、市民皆様がスポーツをより身近に感じ親しめる機会の充実に努めてまいります。

本年度、10回目の開催となる「最東端ねむろシーサイドマラソン」につきましては、全国から多くの参加をいただく市内最大のスポーツイベントとして、引き続き安全で円滑な大会運営に取り組み、市民の健康増進はもとより、全国のランナーと

の交流機会の創出に取り組んでまいります。

「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」につきましては、国内外での活躍を目指す子どもたちへの支援を継続するとともに、トップアスリート・アーティストを招聘した講習会・講演会の開催など、スポーツ・文化に対する意欲や理解、技術力の向上に資する取組を展開してまいります。

また、総合体育会館の建設に関する取組につきましては、市長部局との協議・連携を十分図りながら、本年度、実現段階への移行を果たす「実施設計」に着手し、その実現に向けた歩みを進めてまいります。

Ⅲ むすびに

以上、本年度の教育行政の基本的な考え方と主な施策について申し上げます。

先日まで開催された冬季五輪では、多くの日本選手、道産子選手が世界に勇気と感動を届けてくれました。五輪に限らず、スポーツ界では、それまでの常識を軽々と超える記録を次から次へと叩き出す選手が誕生しています。笑顔で楽しそうにプレーするその姿は、自分の人生を生きる主人公そのものです。

それは、誰かの答えをなぞったり、探ったりするのではなく、

自ら考え、行動し、自分だけの答えをみつけていく。「やらされる教育」では生み出せない「やりたいという思いに突き動かされ、躍動していく教育」だからこそ生み出される、まさに生き生きとしたありのままの姿です。

根室市においても、スポーツや文化等様々な分野で、全道大会、全国大会へ進む子どもたちが毎年増えています。根室に暮らす、全ての子どもたちが「主人公」として、笑顔で楽しく輝きながら前進していくことができるよう、その心に灯をともしていく教育の推進が重要です。

根室市教育委員会といたしましては、新しい根室の教育や文化が大きな花へと育っていくよう、教育関係者はもとより市民の皆様と共になって当市の教育の充実・発展に取り組んでまいりますので、市民の皆様並びに議員の皆様には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。